

# 2022年1月教会便り 砂川～美唄

主任司祭 ナルチゾ神父

新しい年を迎えた今日、降誕8日目にあたる1月1日に、教会は、ローマの古い伝統に従い、“神の母マリア”の祭日を祝います。マリアを「神の母」と宣言したのは、431年のエフェソ公会議でした。年のはじめをマリアの記念日として祝い、祈るのは古いローマ教会の伝統によっています。また、この日がことに大事にされるようになったのは 12月25日から数えてちょうど8日目にあたるからです。



8日目にあたる今日、誕生した神の子は「イエス」と命名されることにより、正式に神の民の歴史、人類の歴史の一員になります。そして、マリアには、救い主としてのイエスの使命に、自分も深く一致するという母の姿があります。

マリアは、羊飼いたちにイエスを示し、彼らを喜びでみましたが、今日も私たちに恵みそのものであるイエスを示し、与え続けられます。今日は「世界平和の日」でもあります。世界の人々と心をひとつにして、たまものである平和を祈り求めましょう。教会は、年の最初の朗読を、イスラエルに伝わる民数記6章の祝福の言葉ではじめます。創造の時、「神はお造りになったすべてのものを御覧になり」それは「良かった」とすべてを「祝福し、聖別され」ました。

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らしあなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けてあなたに平安を賜るように。」

この祝福の源は神ご自身ですが、この神の祝福の行為に私たちのそれをも合わせ、出会う人々のために主に祝福を願う日としてはいかがですか。(Laudate)

## 1月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
1	土	神の母聖マリア 元旦 P9 新年を祝う	9:00ミサ 先読: 多田 第1: 古野 第2: 間野 典礼聖歌: 千田/野呂 オルガン: 多田	11:00
2	日	主の公現 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4 平和を願う P10 ご公現の祈り	9:00ミサ 先読: 高塚 第1: 室井 第2: 岡本 典礼聖歌: 三上夫妻 オルガン: 野呂	11:00
9	日	主の洗礼 司祭と召出を求めるために祈る日	9:00ミサ 先読: 野呂 第1: 千田 第2: 西川薫 典礼聖歌: 間野/安藤 オルガン: 多田	11:00
16	日	年間第2主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00ミサ 先読: 多田 第1: 本田 第2: 三上朋 典礼聖歌: 高塚/間野 オルガン: 野呂	11:00
23	日	年間第3主日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00ミサ 先読: 高塚 第1: 安藤 第2: 古野 典礼聖歌: 三上夫妻 オルガン: 野呂	11:00
30	日	年間第4主日 死者のために祈る日	9:00ミサ 先読: 多田 第1: 間野 第2: 室井 典礼聖歌: 野呂/多田 オルガン: 多田	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会: 月曜日～金曜日17:00、土曜日10:00 ○美唄教会: 金曜日10:30

## 今月の霊名記念日の方…おめでとございます(敬称略)

○砂川教会	◆美唄教会
17日 聖アントニオ修道院長 多田博樹	1日 神の母聖マリア 河野 智子
21日 聖マリアアグネスおとめ殉教者 武内恵美子	21日 アグネス 東 加奈子、板垣春江

### ◇お知らせ

- ・9日(日) クリスマス飾り 片付け、新年会はコロナ禍で未定。
- ・20日は初代主任司祭ヤヌリオ・ムラード神父様の22回忌です。
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。
- ・ロザリオ会は冬季(11月～3月は夜間の交通安全を考慮し お休みにします)

花当番	
8日(土)	安藤
22日(土)	多比良

◇その他 1日(土)世界平和の日 30日(日)世界こども助け合いの日(献金)

# 3つの「ガン」との闘い・・・祈りで救われています！！

西川 ヨシ子

近年、高齢化が進むにつれて「ガン」は2人に1人が患う病気と  
言われていますが、何故か私は(80歳)1人で3つの「ガン」にかかって  
しまいました。それも再発・転移ではなく、それぞれ単独のものでした。



最初の「ガン」は毎年の乳がんの健診は必ず受けていましたが  
68歳の時に発症し、手術で右乳房の腫瘍部を除去し放射線18回  
受けました。その後3か月ごとの検診、5年過ぎてからは年1回の  
検診も再発なく10年経過しましたが、その際の診察で、小さな「シコリ」が2つあると言われ  
これが「ガン」化するかどうかしばらく様子を見ることになりました。

2つ目の「ガン」は77歳の時に右足の太もも(大腿部)に「シコリ」が出来、最初は  
ガングリオン(脂肪の塊)と思っていましたが、次第に大きくなり受診検査の結果、軟部肉腫  
と言われ 極めて稀な「ガン」で再発した場合は5年生存率も50%で肺に転移すると  
言われ 目の前が真っ暗になりましたが、医師から大丈夫 “神に祈りなさい、” と励まされ心が  
落ち着きました。この先生の信仰の深さを感じ取れました。  
手術で患部を除去し、放射線30回受け、その後3か月ごとの検診を受け3年経過も再発  
転移もなく順調にきていますが、まだまだ油断できません。

3つ目の「ガン」は78歳の時に左耳の下に「シコリ」が出来、違和感を感じ受診検査の結果  
顔面を動かす神経の所に腫瘍ができる耳下腺癌と言われ、これ又10万人に1~2人の発症率  
とのこと。治療は手術での除去ですが神経を切断したり、傷つけると後遺症(顔面麻痺)が  
残るとのことで8時間の大手術になりましたが無事に神経を温存し腫瘍を取り除くことが出来  
ました。その後30回の放射線を受け3か月ごとの検診も再発転移もなく2年経過しております。

手術や放射線による副反応や再発転移のことを考えると心身共に疲れてしまいますが  
朝の「お祈り」や「ミサ」に預かって信仰の尊さを学び、ナルチゾ神父様からは 大丈夫  
痛い・しびれは生きている証拠です。神に委ねなさい と励ましの言葉を頂いたり、教会の  
皆さんの温かい心使いや、夫の手助けは何よりの「クスリ」になっております。

今迄「うつ」になる事もなく夜は寝れますし 食欲もあり普段と変わらない生活を  
送らせて頂いております。

—感謝—

神の言葉

祈りはあらゆる不自由から

心を解放してくれます

アーメン

構成 西川 薫